

おおだて

令和4年5月1日 144号

市議会だより



市議会タブレット操作研修の様子
(令和4年3月22日撮影)

令和4年3月定例会から試験的に
タブレット端末が導入されました。
今後、本格的に運用され、議会の
活性化が期待されます。

令和4年3月定例会 議案等の審議結果……▶	2
一般質問……▶	5
常任委員会から……▶	12
私もひ・と・こ・と……▶	14

3月定例会の主な議案等の審議結果



令和4年3月定例会は、2月28日から3月22日までの23日間の会期で開催されました。市長提出議案は報告2件、専決処分の承認2件、条例案21件、単行案2件、予算案39件など合計69件でした。

ここでは、審議の結果の主なものをお知らせします。

専決処分の承認

承認

認 第 1 号 令和3年度大館市一般会計補正予算（第11号） ほか

条例案

原案
可決

- 議案第 1 号 大館市公の施設の指定管理者の指定の手続等を定める
条例
- 議案第 2 号 大館市個人情報保護条例
- 議案第 3 号 職員の勤務時間、休暇等に関する条例
- 議案第 4 号 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する
条例
- 議案第 5 号 大館市職員の育児休業等に関する条例
- 議案第 6 号 大館市教育施設整備基金に関する条例 ほか
- 上記について、それぞれ一部を改正する条例案

補正予算案

原案
可決

- | | |
|--------|--------------------------------|
| 議案第24号 | 令和3年度大館市一般会計補正予算（第13号）案 |
| 議案第25号 | 令和3年度大館市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）案 |
| 議案第26号 | 令和3年度大館市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）案 |
| 議案第27号 | 令和3年度大館市介護保険特別会計補正予算（第2号）案 |
| 議案第28号 | 令和3年度大館市介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）案 |
- ほか

当初予算案

原案
可決

- | | |
|--------|--------------------------|
| 議案第43号 | 令和4年度大館市一般会計予算案 |
| 議案第44号 | 令和4年度大館市国民健康保険特別会計予算案 |
| 議案第45号 | 令和4年度大館市後期高齢者医療特別会計予算案 |
| 議案第46号 | 令和4年度大館市介護保険特別会計予算案 |
| 議案第47号 | 令和4年度大館市介護サービス事業特別会計予算案 |
| 議案第48号 | 令和4年度大館市戸別浄化槽整備事業特別会計予算案 |
| 議案第49号 | 令和4年度大館市小規模水道等事業特別会計予算案 |
- ほか



タクミアリーナで行われたボッチャ交流会「はちくんオープン」の様子。大館市とタイ王国との交流を記念し、昨年に引き続き2回目の開催。（令和4年1月16日撮影）

3月定例会に提出された請願・陳情

継続
審査

- 請願第 9 号 東台地区コミュニティセンター（仮称）の建設について
陳情第 51 号 「最低賃金の改善を求める意見書」の採択を求める陳情書
陳情第 52 号 最低賃金の改善にあたり、「中小企業・零細企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書

継続審査となっていた請願・陳情

継続
審査

- 請願第 3 号 秋田犬会館の改修工事への助成について
請願第 4 号 地域医療を守り、公立病院等の維持・存続を求める意見書の提出要請について
請願第 8 号 扇田病院の無床診療所化に反対する請願書
陳情第 6 号 辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外、国外への移転を民主主義及び日本国憲法に基づき公正に解決させるよう求める意見書の提出要請について
陳情第 8 号 「沖縄県民は先住民族」との国連の勧告を撤回させることを求める意見書の提出要請について
陳情第 9 号 米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進するよう求める意見書の提出要請について
陳情第 10 号 臓器移植の環境整備を求める意見書の提出要請について
陳情第 25 号 公立学校に 1 年単位の変形労働時間制を導入する条例制定に反対する意見書の提出要請について
陳情第 30 号 日米地位協定の抜本的な見直しを求める意見書の提出要請について
陳情第 38 号 最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書の提出要請について
陳情第 40 号 日米地位協定の抜本的な見直しを求める意見書の提出要請について
陳情第 41 号 辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書の提出要請について
陳情第 43 号 沖縄防衛局による沖縄本島南部の沖縄戦戦没者の遺骨が混じった土砂の採取計画を止めることを国に要請して求める意見書の提出要請に関する陳情書
陳情第 44 号 安全・安心の医療・介護・福祉を実現し、国民のいのちと健康を守るため国に意見書提出を求める陳情
陳情第 45 号 精神保健福祉の改善について国に意見書提出を求める陳情
陳情第 46 号 安全・安心の医療・介護・福祉を実現し、国民のいのちと健康をまもることを国に求める意見書提出の陳情
陳情第 47 号 人工透析を要する要介護者における介護保険制度の改正について
陳情第 48 号 介護をする人・受ける人がともに大切にされる介護保険制度への転換を求める国への意見書提出の陳情
陳情第 49 号 沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋立てに使用しないよう国に要請する意見書の提出要請に関する陳情書
陳情第 50 号 ウイグルの人権問題に対し国に調査を求める意見書採択のお願い

大館市議会では令和 4 年 3 月定例会において
「ロシアによるウクライナ侵攻を非難する決議」
を全会一致で可決しました。

一

般

質

問

一般質問とは、市政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を市に求め、適切な市政運営を進めているかチェックするものです。

ここでは、議員本人が要約したものを掲載しております。

一般質問

一般質問の全文は、6月中に市のホームページへ掲載する会議録でご覧いただけます。

〔問〕 平成16年11月29日付の合併協定書を見ると、合併後すぐに経営方針をまとめ、新しい大館市議会としてこれを行政に求めるということで合併に賛成し、合併協定書を作成したにもかかわらず、合併後の厚生常任委員会（相馬エミ子委員長）において、扇田病院の問題について誰も提案をしていない、委員会での議論もなされていない。委員長は委員会を招集し、議事を整理する権限があるにもかかわらず、18年間一度もこの問題についての議論がなされなかった、というのが最大の原因ではないか。当時の厚生常任委員会の議員で現在も在職している議員になぜこの問題を取り上げ、解決に導こうとしなかったのか伺いたい。そして今こそ議員全員の話し合いの場を持ち、この問題を解決するために特別委員会の設置を求める。



扇田病院の問題について

阿部

文男

議員（令和会）

〔市長〕 合併協議会や市議会全員協議会で決した事項等については、合併後16年を経た現在においても重く受け止め、尊重している。特別委員会の設置については、議会の所管事項であり、発言する立場にない。

米価下落対策について

〔問〕 農業を続けていきたいと意気込んで、昨今の米価の下落や原油高で肥料や資材が高騰し、生活が成り立たないと訴える若い世代の意欲を無駄にしないためにも、今こそ行政の支援が必要ではないか。1月中旬の北鹿新聞に隣の小坂町が米価下落の影響を受けた農家を支援するため、約10アール当たり3000円を交付する予算案が提出される記事が載っていた。大館市こそ他の市町村に先駆けてこのような政策を打ち出してほしかったが。

〔市長〕 輪作体系確立に向けた小麦栽培の実証実験やスマート農業機器の導入支援を実施する予定であり、付加価値を高めた有機農産物の生産モデルとなる農業経営体の育成にも取り組む。主食用米から他の作物への作付転換を推進し、農業経営体の営農継続を支援するため、農業経営継続支援事業補助金を創設する予定である。

※新型コロナウイルス飛沫感染対策として、演壇に透明アクリル板を設置しました。

女性職員の管理職登用について

田中 耕太郎 議員（令和会）



〔問〕 女性職員の管理職登用を積極的に進めていただきたい。

〔市長〕 職員の人事異動や配置については、適材適所を基本とし、管理・監督職員には、政策立案能力と調整能力が求められる。政策協議や各種事業等の打ち合わせなどで、意欲、能力、適性等を確認し、今後も男女の差異なく、個々の能力が十分に発揮できる勤務環境づくりを進め、適正な職員の配置、登用に努める。

交流人口拡大方策について

〔問〕 3D連携（函館・大館・角館の「館」つながり）を軸に、交流人口拡大に向けた新たなビジョン形成を。

〔市長〕 DMOの形成や広域連携による観光振興に成果を上げることができている。ウイズコロナ時代の地方創生に向けて三つの取組を進め

る。一つ目は「人流の拡大」。二つ目は「物流の拡大」。三つ目は「情報流の拡大」で、国はデータセンターの地方分散化を目指しているが、本市は羽田空港から約1時間の距離にあることや地盤が強固な内陸部に位置すること、良質な水などの資源が豊富なこと、低炭素社会の実現に向けて先進的な取組を展開していることをアピールしながら誘致を進める。「人流・物流・情報流の拡大」への取組は、北東北の中心に位置する本市がその中心的役割を担うものである。

大館駅周辺地区の展望と民間投資について

〔問〕 基盤整備が進む大館駅周辺地区への民間投資を誘発し、地方創生の核とすべきと考えるが。

〔市長〕 日沿道の整備促進が順調に進捗している中、物流の要である「大館インランドデポ構想」を進めることで、社会資本整備による地域の生産活動の創出や雇用の増加、消費拡大など短期的に経済全体を拡大させる「フロー効果」に加え、中長期的には、民間投資の誘発につながる「ストック効果」がある。多様な施策に重層的な取組を進め、市全体の成長力を高めていく。

大館市議会

検索

クリック

一般質問

人口減少が進む中で
経済発展をさせる大館市の取組について
大館版地域包括ケアシステムの構築について

小畑 新一 議員（公明党）



〔問〕 人口減少が続く中、人口規模の増加で、地域経済を大きくすることは難しい。人の移動、物流、情報の流れのボリュームを増やすべきではないか。

〔市長〕 高齡化が進む中で、市民の生活圏内での移動方法の確保をどのように考えているのか。

〔市長〕 観光については、秋田犬ツーリズムと連携し、同DMOが6年間積み上げてきた地域観光資源のブランド化や情報発信など、地域の価値向上による観光の産業化に積極的に取り組んでいきたい。

高齡者の移動手段としては、「AIを活用したモビリティサービス」導入について、調査・研究をしているところである。

大館版地域包括ケアシステムの構築について

〔問〕 大館市を含む二次医療圏全体として、扇田病院や労災病院が現在提供している医療を今後どのように活用していくのか議論をすべき。在宅療養を受けやすくするための計画が必要ではないか。訪問看護ステーションや介護医療院の配置などの計画はどのように進めるのか。

〔市長〕 市民へのニーズ調査や関係事務所への聞き取り調査等を実施しながら、介護サービスの充実や施設整備に向けた計画と、医療と介護が適切に提供されるための取組を、次期介護保険事業計画に反映させていきたい。

〔問〕 秋田県全体として令和12年には、3600人の介護人材の不足が予測されている。この対応には、介護サービス事業の生産性の向上が不可避だと言える。一か所の事業所を指定して、各種ロボットの実証実験等を行い、効率的にデータを収集するべきではないか。

〔市長〕 介護ロボットなどICT技術の導入は、本市の第2期大館市総合戦略において取り組むべき施策に掲げている。介護ロボットの活用については、介護従事者の身体的負担の軽減や業務の効率化など働きやすい職場環境にもつながることから、情報収集などの調査をし、検討する。

※新型コロナウイルス飛沫感染対策として、演壇に透明アクリル板を設置しました。

紹介状の無い市民が1650円の「初診時の保険外併用療養費」の支払いを了承した場合の市立総合病院の対応について

佐藤 芳忠さとう よしただ 議員（市民の風）



〔問〕 一番の問題は看護師が患者の症状を判断し診察するしない。軽症か重症かを判断していることです。2018年に看護師が「軽症だから帰ってください」と。しかし診ていただいた担当医師は「即入院」として1週間後弘大病院で手術しました。

看護師の言う通り帰ってれば、大変なことになっていたでしょう。

〔問〕 医師法では「医師は正当な事由がなければ、診察を拒んではならない」と定められています。総合病院のように、市民が診察を求めたのに、紹介状が無いからと他の医院を紹介したり診察しなかったりするの、医師法に反しています。

〔問〕 医師法では「医師は正当な事由がなければ、診察を拒んではならない」と定められています。総合病院のように、市民が診察を求めたのに、紹介状が無いからと他の医院を紹介したり診察しなかったりするの、医師法に反しています。

〔問〕 医師法では「医師は正当な事由がなければ、診察を拒んではならない」と定められています。総合病院のように、市民が診察を求めたのに、紹介状が無いからと他の医院を紹介したり診察しなかったりするの、医師法に反しています。

〔問〕 医師法では「医師は正当な事由がなければ、診察を拒んではならない」と定められています。総合病院のように、市民が診察を求めたのに、紹介状が無いからと他の医院を紹介したり診察しなかったりするの、医師法に反しています。

一般質問の全文は、6月中に市のホームページへ掲載する会議録でご覧いただけます。

一般質問

データセンターの誘致に伴い、インランドデポの推進を東大館駅の保存、再利用について、他

柳館 晃やなぎだて こう 議員（令和会）



〔問〕 デジタル化の進展に伴い、重要性が高まるデータセンターは、約60%が関東、約24%が関西に集中し、重大な災害が起きたときには影響が大きいことから、政府は地方分散を進めるとい方針を受けて、県及び本市はじめ、県内13市が誘致を表明しているが、どのような策を講じて誘致を進めていくのか。

〔問〕 デジタル化の進展に伴い、重要性が高まるデータセンターは、約60%が関東、約24%が関西に集中し、重大な災害が起きたときには影響が大きいことから、政府は地方分散を進めるとい方針を受けて、県及び本市はじめ、県内13市が誘致を表明しているが、どのような策を講じて誘致を進めていくのか。

〔問〕 デジタル化の進展に伴い、重要性が高まるデータセンターは、約60%が関東、約24%が関西に集中し、重大な災害が起きたときには影響が大きいことから、政府は地方分散を進めるとい方針を受けて、県及び本市はじめ、県内13市が誘致を表明しているが、どのような策を講じて誘致を進めていくのか。

〔問〕 デジタル化の進展に伴い、重要性が高まるデータセンターは、約60%が関東、約24%が関西に集中し、重大な災害が起きたときには影響が大きいことから、政府は地方分散を進めるとい方針を受けて、県及び本市はじめ、県内13市が誘致を表明しているが、どのような策を講じて誘致を進めていくのか。

〔問〕 デジタル化の進展に伴い、重要性が高まるデータセンターは、約60%が関東、約24%が関西に集中し、重大な災害が起きたときには影響が大きいことから、政府は地方分散を進めるとい方針を受けて、県及び本市はじめ、県内13市が誘致を表明しているが、どのような策を講じて誘致を進めていくのか。

〔問〕 デジタル化の進展に伴い、重要性が高まるデータセンターは、約60%が関東、約24%が関西に集中し、重大な災害が起きたときには影響が大きいことから、政府は地方分散を進めるとい方針を受けて、県及び本市はじめ、県内13市が誘致を表明しているが、どのような策を講じて誘致を進めていくのか。

〔問〕 デジタル化の進展に伴い、重要性が高まるデータセンターは、約60%が関東、約24%が関西に集中し、重大な災害が起きたときには影響が大きいことから、政府は地方分散を進めるとい方針を受けて、県及び本市はじめ、県内13市が誘致を表明しているが、どのような策を講じて誘致を進めていくのか。

〔問〕 デジタル化の進展に伴い、重要性が高まるデータセンターは、約60%が関東、約24%が関西に集中し、重大な災害が起きたときには影響が大きいことから、政府は地方分散を進めるとい方針を受けて、県及び本市はじめ、県内13市が誘致を表明しているが、どのような策を講じて誘致を進めていくのか。

〔問〕 デジタル化の進展に伴い、重要性が高まるデータセンターは、約60%が関東、約24%が関西に集中し、重大な災害が起きたときには影響が大きいことから、政府は地方分散を進めるとい方針を受けて、県及び本市はじめ、県内13市が誘致を表明しているが、どのような策を講じて誘致を進めていくのか。

※新型コロナウイルス飛沫感染対策として、演壇に透明アクリル板を設置しました。

東大館駅を保存・活用できないか

小棚木 政之 議員（令和会）



〈問〉 JRから駅舎とトイレを解体する話があったそうだが、トイレの再設置は当然ながら、歴史的に貴重な駅舎を保存できないか。

〈市長〉 現存する唯一の秋田鉄道の建築であり、「西にあるのに東大館駅」というユニークな由来は幕藩時代から近代化産業で興隆した大館の歴史の変遷、特に人々の意識を知ることが出来るものである。活用策は柔軟性をもって検討してほしい。

〔市長〕 人流と物流の物語をつなぐ大切な場所であるとの思いは同じ。保全・活用では耐震補強や内部補修などハードだけでなく、活用に重きを置いて判断すべきで、様々な立場の方々の参加するワーキンググループでご意見をいただき方向性を定める予定。JRでも地元の意向を考慮し再度検討・協議いただけるのとご感謝している。

市街地の除雪は根本的な見直しを

〈問〉 毎年の苦情は抜本的な対策をしなければ何も変わらないし、人口減少が進む中、いざれ手が回らなくなる。時間を掛けてでも堆雪場所の市有地化を図り、児童公園の一部を一時的な堆雪場所にするなどまだ工夫の余地があるのではないか。

〔市長〕 雪寄せ場は市民や企業などの協力を得て市内84か所、雪押し場は1648か所ある。公園も住民や施設に支障がない範囲で堆雪場所として利用できるようにしている。民有地の空き地活用は、除雪時の騒音や景観、雪解け後の環境の問題などがあるが、引き続き町内会や除雪業者と更に連携し進めたい。

コミュニティ・スクール 全校導入

〈問〉 学校を取り巻く会議体が多い。それらとの関係性は。市学校教育環境適正化計画との関連は。

〔教育長〕 令和5年度からの全小中学校導入を進めている。学校運営協や評価委をコミュニティスクール運営協に転用する。市学校教育環境適正化計画とは関係がない。

大館市議会

検索

クリック

一般質問

新品種米サキホコレについて

富樫 孝 議員（市民の風）



〈問〉 県北での作付が遅れているという農家の声も聞こえるが実態は。

〔市長〕 サキホコレは、県が全国に咲き誇るブランド米として開発した品質と食味に特にこだわった品種である。買取価格は、あきたこまちより4000円高い1万4600円で所得向上に資する。作付推奨地域以外については、3年間の試験栽培で栽培方法が確立できれば、令和7年度の作付推奨地域として新たに編入する方針が示されている。編入された際には、本市での作付の実施に向け取り組んでまいりたい。

へき地保育園について

〈問〉 へき地保育所の今後は

〔市長〕 保育施設は幼児教育の場であり、就学につながるための大切な役割を担っている。令和3年4月

民俗芸能について

〈問〉 空き公共施設を利用した伝承館があればよいと思うが

〔市長〕 民俗芸能は、先代から受け継いできた地域の貴重な財産である。地域の郷土芸能保存団体が参加するイベントでの公演や、学校での伝承事業を支援しているほか、無形民俗文化財の保護や伝承に取り組んでいる団体と連携して守り育てる取組を進めている。一方、後継者不足や衣装等の道具の保存、管理などで課題について情報交換できる場を設ける必要がある。空き公共施設を利用した伝承館を最優先に検討したい。

※新型コロナウイルス飛沫感染対策として、演壇に透明アクリル板を設置しました。

コロナ禍での対応について

明石 宏康 議員（市民の風）



〔問〕 市内の景況はまだまだ厳しい。食タクシー事業や特産品送料助成事業は評判がよかった。今後はどのような支援を講じていくのか。

〔市長〕 国からコロナ対策の臨時交付金として、本市には約4億3000万円が配分される見込みだ。事業者や市民の要望を聞きながら、効果的な対策を実施する。

〔問〕 学校・保育現場にも感染が広がってしまった。関係者への優先接種を始めたことに感謝したい。これからの対策は。

〔市長〕 機動的な対応ができたのは、医師会や薬剤師会など関係各位の協力のおかげだ。引き続き接種のペースアップや検査体制の充実を図っていく。

扇田病院の無床化について

〔問〕 県の医療構想では、圏域の

回復期の病床は足りないが、療養期の病床は過剰だとされている。総合病院では、本来入院期限のある回復期病床である、包括ケア病床の弾力的な対応で扇田から受入れをするとの計画だが大丈夫なのか。現在でも多忙を極めている総合病院の既存人員で果たしてそれが可能かとの疑問が残る。利用者の行く先が定まらない、また市民合意が取れているとは思えない現下の状況において、診療所案を推し進めるのは極めて危うい。当面は基本設計委託料などの関連予算を計上しないことを求めたい。

〔病院事業管理者〕 医療と福祉の連携をどのようにしていくのか、病院事業において課題を整理して市民と共有したい。総合病院での回復期病床は、扇田病院への対応としてだけではなく、将来の医療需要を見据えた場合に必要だ。一定程度の医療従事者の増員は必要になる。今すぐ受入れをすることは難しい。当初は一刻の猶予もない状況であったが、手直しをしたことにより議論をする時間ができた。病院を残すとなった場合、よほど考えていかないとけない。関連予算を計上する状況ではないと考えている。

一般質問の全文は、6月中に市のホームページへ掲載する会議録でご覧いただけます。

一般質問

中山間水田畑地化整備事業について

田村 秀雄 議員（市民の風）



〔問〕 転作推進の有効な手段と考えられるが、整備面積1・5ヘクタールにとどまり、事業完了後に作付を行う事業者1者、一事業者の支援となっている。地域全体との協議を重ね、地域一体となって進めることはできないのか。

〔市長〕 中山間水田畑地化整備事業は、未整備農地が多い中山間地域において、園芸作物等の振興を図る上で有効な手段であり、市では大館地域資源活用推進協議会を立ち上げ、地域の実情や受益者の意向を踏まえ整備を進めており、畑地化を完了し、令和4年度からニンニクの作付を予定している。「人・農地プラン」により、新規参入事業者と地域の農業者が一体となって地域の農業維持・発展に取り組む。

〔問〕 本市の農業の将来について

農業分野における経営体の減少は、2015年に1976経営体であったものが2020年には1297経営体となり、34.4%と急激な減少となっており特に山間地においては、経営体の減少が大きく遊休農地が散見される状況であり、中山間地区では担い手が不在の地区もあるなど早急な対策を講じる必要がある、担い手不足の対策はどのように考えているのか。

〔市長〕 本市の農業経営体数の急激な減少は喫緊の課題であり、早急な対策を求められると認識する。農業の抜本的な見直しを行い「稼げる農業」「維持可能な農業経営」の構築による魅力ある経営体の創出を通じて担い手不足の解消につなげる。今年度は、新たな土地利用型作物導入による輪作体系の確立に向けた小麦栽培の実証実験を行ったほか、令和4年度から高価格が期待できる有機農産物の実証栽培や、中山間地の耕作地に適した高収益作物の導入に加え、農業者の省力化に必要なスマート農業機器の導入支援を市単独事業として実施していく。

※新型コロナウイルス飛沫感染対策として、演壇に透明アクリル板を設置しました。

桂城公園に喫煙所は必要ないのでは

相馬 エミ子 議員（市民の風）



して利用してもらえよう努めてま
いりたい。

扇田病院無床化に対する 考え

〔問〕 無床化方針の撤回を求める
反対署名が今も続き、2月21日に公
開質問状と一緒に届けた署名を合わ
せると2万834筆と大館市始まっ
て以来の反対署名をどのように受け
止めているのか伺う。

〔問〕 景観豊かな桂城公園に喫煙
所設置計画があるが、コロナ禍で感
染拡大している中「濃厚接触」の場
になり、禁煙の機会を奪ってしまう
設置したとなれば、喫煙者にお墨つ
きを与えたも同然だ。市長は「吸う
人と吸わない人が共存し、安定した
たばこ税を確保するため」としてい
るが、たばこ税よりも医療費の支出
の方が倍以上も多いことが分かって
いる。市がやることは喫煙所の設置
ではなく、喫煙者を禁煙に導くため
指導することではないか。

〔市長〕 桂城公園は、喫煙行為の
制限を受ける区域に指定されていな
いため、仮設喫煙所の設置に当たっ
ては、副流煙等の影響がないよう子
供や周辺住民に十分配慮する。決し
て喫煙を誘導するものではない。設
置後は「3密」を回避するため、啓
発看板などを設置する。子供からお
年寄りまで幅広い世代の憩いの場と

しかも「コロナ禍の収束が見えな
い中で病院無床化はありえない」と
する声が増しに高まっているのだ。
また、昨年8月の無床化方針撤回を
求める要望書や、去る2月21日に提
出した公開質問状に対してまだに回
答がないと伺っているが、なぜ回答
できないのか。他者と会っていないが
ら、なぜ「守る会」と正面から会お
うとしないのか疑問に思う。病院開
設者としての考えは。

〔市長〕 「この地域で安心して暮
らし続けるため、医療を提供する場
を残してほしい」との願いが届けら
れたと受け止めている。今後も時間
をかけて県や関係機関と協議し、質
問状については諸般の理由で回答が
遅れ、本日回答したところなのでご
理解願う。

大館市議会

検索

クリック

一般質問

子どもの国民健康保険税の軽減について

笹島 愛子議員（共産党）



「平等割」の3方式としている。

この度の制度改正は、子育て世帯
の経済的負担軽減の観点から、未就
学児に係る、均等割保険税について
5割軽減するもので、4月から実施
される。今後も子育て支援の推進策
として全国市長会を通じて国に働き
かけていく。

扇田病院の存続について

〔問〕 コロナのような感染症でも
災害でも、医療・病院は絶対的な役
割を果たす。

だからこそ、市長がこの間「扇田
病院は決して潰さない、存続させる。」
と繰り返し述べてきたことを守るべ
きだ。扇田病院の存続については今
回で3度目の質問になる。
存続する！との答弁を聞かせて。

〔市長〕 扇田病院の方向性の案に
ついては、病院が抱える様々な課題
の解決を図るとともに、総合病院と
の医療機能連携と役割分担を検討し
た結果として示させていたいただいたも
のであり、将来にわたり、比内地域
に医療を提供する場を残さなければ
ならないの思いに変わりはない。

国は、未就学児に限定し、
公費で 5割軽減(均等割)
することにした。本市とし
ても5割補助を行い、子ど
も世帯を応援すること
〔問〕 国保税の均等割は収入に関
係なく、世帯の加入者数に応じて課
される保険税で、赤ちゃんにも課税
され、子育て支援に逆行するものと
批判が高まっていた。
未就学児までの均等割を国が5割
軽減することにしたので、残りは市
が補助し、負担を軽減するべきでは
ないか。
また、この均等割を18歳まで免除
している自治体もある。
本市でも実施するべきだ。
〔市長〕 現行の国民健康保険税制
度は、「所得割」と「均等割」と

※新型コロナウイルス飛沫感染対策として、演壇に透明アクリル板を設置しました。

2期目最終年度！持続可能な大館市実現のため、 新たな種をまき散らす

田村 儀光 議員（活性大館）



コロナ感染者数が1004人と、オミクロン株の感染力の強さにただただびっくりしている。医療現場は大変かと思うが現状は。そして、5歳から11歳までのワクチン接種への対応はどうか。

〔問〕 コロナ対応について、感染者数発表は保健所単位ではなく、市町村単位か秋田県全体だけにしように県に働きかけるべきと思う。対策事業については、原油価格の高騰によるガソリン・灯油等の値上がりも加わり、市民生活に大きな影響を及ぼしている今日、早急な支援対策を実施すべきと思うが。

〔市長〕 今年度のコロナ感染症に係る支援策として、これまでの本市の対策事業予算規模は約38億円の見込みとなっている。また、国が昨年11月に閣議決定した経済対策に基づくと、本市には約4億3000万円の臨時交付金が配分される見込みである。引き続き事業者や市民の皆様への御要望を伺いながら、効果的な対策を切れ目なく実施していく。

〔問〕 1月6日から3月6日までの期間で、大館保健所管内の新型コロナ

〔病院事業管理者〕 業務は大変になっている。15床のコロナ対応病床に16人を受け入れている状況が2週間ほど続いている。現場では通常月8回の夜勤を9回に増やして頑張ってもらっている。また、急な治療の必要がない疾患の受診を控えてもらうことや、手術の延期などの診療制限をしている。これから始まる11歳以下のワクチン接種については、現状では対象者の8割が希望している。小児科医が4名、その他の医師が4名の計8名で対応し、診察、聴診をし、打つ前にも十分な説明をする。また、説明を聞いた上で、その場で接種をやめることも可能である。

〔教育長〕 子供がワクチン接種をしたかどうかは知り得ないものではない。また、学校で調査することもない。教育委員会としては、ワクチン接種に関してのトラブルが発生しないように気をつけていきたい。

一般質問

一般質問の全文は、6月中に市のホームページへ掲載する会議録でご覧いただけます。

未来のエネルギー政策と庁舎の節電について

日景 賢悟 議員（令和会）



比較を教えてください。
(2) 新庁舎になって、無駄な電気を使っている場面が多くあるため、令和の時代に合った前向きなクールビズ、ウォームビズの徹底を。

〔市長〕 新庁舎の電気代が4.9倍の増で、3245万円になった他、全体では1.9倍に増えた。電気料金については今後も値上がりが見込まれることから一層の節電に努め、令和の時代に合ったクールビズ、ウォームビズを推進し、二酸化炭素排出削減につなげていく。

〔問〕 ふるさと納税伸び悩みのボトルネックは何か
(1) 市が掲げる10億円という数値目標自体がボトルネックになっているのではないか。
(2) 大館市は30億円くらいのポテンシャルがあると私は思っているが、目標達成に向けた改善策は。

〔市長〕 他の自治体があるさと納税に力を入れ始めたこと、寄付サイトの少なさ、新たな返礼品の開発・周知など、業務拡大のためのマンパワーが不足していた。大館商工会議所と課題を共有し、専門的なノウハウを持つ団体との連携も視野に入れ、一層の推進を図る。

〔問〕 市のエネルギー政策の未来像について
(1) 燃料や電気料金の値上げで、莫大なお金が大館から流出している。そこで、電気の小規模発電設備の普及と地産地消を政策に掲げ、早期に実行すべきと考える。
(2) 発電のみならず、排出される排熱とCO2を農業に有効活用を。
〔市長〕 地域内総生産額の約17%、45億円が域外に流出していると試算されており、「エネルギーの地産地消」は欠かせないものである。ゼロカーボンシティ宣言を契機に、地域循環型経済の形成に一丸となって取り組み、林業・農業・商工業とも連携を図りながら、小規模発電と自家消費を進める所存である。

〔問〕 市庁舎の節電について
(1) 旧庁舎と新庁舎のランニングコスト（電気・水道・ガス代など）の

※新型コロナウイルス飛沫感染対策として、演壇に透明アクリル板を設置しました。

常任委員会から

大館市議会には4つの常任委員会があり、それぞれが所管する議案等の審査をしています。ここでは、3月定例会の審査の概要をお知らせします。

総務財政常任委員会



総務財政常任委員会の様子

大館市行政組織規則改正(案)について 企画調整課報告

企画調整課の「情報政策係」を「デジタル政策係」とする案が示された。これは、国が推進するデジタル改革に基づき、自治体システムの標準化、定型業務の自動化など、DX(デジタル技術活用による変革)推進のための機能強化を図るものである。

そのほか、「移住交流課」を「交流推進課」に改め、「移住

現地調査

推進係」と「交流企画係」の2係を「交流推進係」の1係とし、観光課は現行の「管理係」「観光振興係」「物産振興係」の3係を、「管理係」を廃止して2係とする。

委員会は3月14日、旧大館工業高校内の総務課書庫の現地視察を行い、公文書の保管状況、セキュリティの状況などを確認した。



現地調査の様子(旧大館工業高校)

厚生常任委員会



厚生常任委員会の様子

新斎場整備事業について

新斎場整備事業の進捗について当局から説明を受けた。新斎場は炉室5基や告別室、待合室4室のほか、キッズルームや授乳室などを設ける。会葬者の動線やプライバシーへの配慮、環境のため高性能集じん機の設置を検討し、高さを抑えた火葬炉とする。また、周辺の住民感情

に配慮した緩衝帯を設置する。今後は、令和4年度に基本設計、5年度に実施設計や用地買収、6～7年度に造成工事や建築工事を行い、8年度に供用開始の予定。現斎場の解体費を含む概算事業費は24億4400万円を見込んでいくことが示された。

現地調査

新年度に子どもの遊び場を整備するニプロハチ公ドームパークセンターを調査した。



現地調査の様子(子どもの遊び場)

教育産業常任委員会

データセンター誘致について

民間企業のデータセンター（DC）の誘致について当局から説明を受けた。DCは大量のコンピュータやデータ通信装置を設置し、データの蓄積や処理に特化した施設。国は大規模災害の発生に備えて、首都圏に集中するDCの地方分散を目指しており、令和7年度までに日本海側の秋田・福岡間に海底ケー



現地調査の様子（にんにく出荷貯蔵施設）

ブルを整備する方針を示している。市は、設備冷却に有利な冷涼な気候や被災リスクの低さ、羽田空港から約1時間の好アクセス性などを事業者へアピールする。

現地調査

田代地区のにんにく集出荷貯蔵施設の現地視察を行い、園芸メカ団地事業の進捗状況を確認した。



建設水道常任委員会

持続可能な公共交通 構築に向けた取組

先導的共生社会ホストタウンとして、人口減少が進行し、公共交通サービスの低下が懸念される中でも、高齢者・障害者・子育て世代など、皆が社会参加しやすい環境を実現するため、AI（人工知能）を活用したモビリティ・サービス「大館版mobilityプロジェクト」の実施検討されていることが報告された。

これは、半径2キロメートルの範囲の移動が定額乗り放題になるもので、AIが予約状況や道路状況を基に最適なルートを設定して運行するアプリを活用した「ちょっとした移動」に利用できる新しい交通サービスであり、委員からは既存の交通サービスとの競合を心配する質問も出されたが、既存のサービスとモビリティ・サービスの組合せで、大館市内を移動する選択肢を増やすことが期待されると説

明された。総括質疑でも取り上げられ、市長は「既存のバス路線等と市場を奪い合うのではなく、一緒に市場を増やしていく」という取組である」と理解を求めた。

その他、令和3年度除雪状況や歴史まちづくり事業の前期5年間の取組などが報告された。



建設常任委員会の様子

私もひ・と・こ・と 第46回

はたけやま じゅういち

富山充一さん (ニッ森)



一里山?!

皆さんは、大山をご存じですか。
釈迦内地区の最高峰です。大館の中心部から、北西の方向の電波塔が見えるあの山です。375.7mの小さい山ですが、大変眺めの素晴らしい所です。さて、山頂には、今では珍しくなった山野草があります。名前は『オキナグサ』、釈迦内地方では「んばかすら」とか言われています。これが平成18年9月に、当時の釈迦内山野草サークルの会員により

個人で買い求めていた苗の増えたのを、集めた、恩師の「高橋アイ」先生の苗の提供を受けて有志の手で、約60株植栽しております。このオキナグサは毒草で、昔の草刈り山には数多く見られましたが、農業の機械化で、草刈りも必要なくなり、山は木が生い茂り「ブッシュ」状態です。オキナグサにとっては、太陽光が大切で、背の高い植物が周りがあると、あっとゆうまに、衰退してしまいます。大山山頂の『オキナグサ』ですが、毎年のように、草刈りが欠かれません。1年に1〜2回草刈りをして、大切に保護に努めております。近年は、柵の外にも種が飛んで、あちこちで1〜3本と増えています。これは、オキナグサにとっては、都合のよい条件が見つかり、根を下ろしたにすぎません。

山歩き大好き人間です。

しかし、残念なこともあります。それは『盗掘』という悪い行為です。

オキナグサは、毒草です。アルカロイド系の極めて強い毒です。馬や牛も絶対に食べません。人が誤って食べると、嘔吐、下痢、呼吸不全など大変危険な植物でもあります。花が綺麗だからと安易に扱わないように。

『盗掘』はあってはならない行為です。私たちの植栽した行為を考えて見るだけにして戴きたいものです。この見る事だけで、自然保護に繋がります。その行為だけで気持ちのいい気分になれますよ。

「私もひ・と・こ・と」のコーナーでは、みなさんからの「なまの声」を募集しています。
議会事務局までご連絡ください。

市議会の傍聴自粛のお願い

市議会では新型コロナウイルス感染症予防として「3つの密」を避けるための対策を講じています。傍聴席も少なくするなど、制限していますので、当面の間、本会議の傍聴を自粛してくださるようお願いいたします。

なお、傍聴する場合はマスクを着用し、議場入り口でアルコール消毒をしてください。

せき・発熱などで体調がすぐれない方は、傍聴をご遠慮ください。

編集後記

令和4年3月議会で、大きな変化が起きました。大館市議会について、タブレットが導入された事です。

議会のペーパーレス化等について、議会改革協議会で、数年に渡り検討してきた結果のタブレット導入であります。3月議会は、試験的導入として行なわれていますので、一部は紙の資料のみのも有り、紙とデータの両方の資料も有ります。それでも、各議員は、積極的にタブレットを活用しようと、一所懸命に取り組んでいます。



大館市議会のデジタル活用についても御注目いただきたいと思います。
(小畑 新一 記)